

CHA CONNE

DEALERS OF FINE VIOLINS



Matteo Goffriller

Domenico Montagnana

シャコンヌでは、楽器をはじめケースや部品等を直輸入し、当社の優れた技術で修復、調整の上御紹介しております。また、これらすべての商品に大変お求めやすい独自のシャコンヌ・プライスを設定しております。
高額の楽器、弓に対しては可能な限りの責任を意味する当社の鑑定書を発行し、買取り下取りを保証しています。



Giuseppe Guarneri del Gesu Giuseppe Antonio Rocca

東京海上、千代田火災から認可された保険代理店として万一の事故、盗難に備えた動産総合保険をサービス致します。室内楽コンサートの主催、当社スタジオにおける公開レッスン、弦楽に関する楽譜や書籍等もご利用下さい。また、関連会社カノンでは演奏会・コンサート等においてご利用いただける最高級名器をリーズナブルな料金にてレンタルいたします。お気軽にお問い合わせ下さい。

(株)シャコンヌ

楽器直輸入・修理、調整
楽譜・鑑定・楽器保険
楽器レンタル

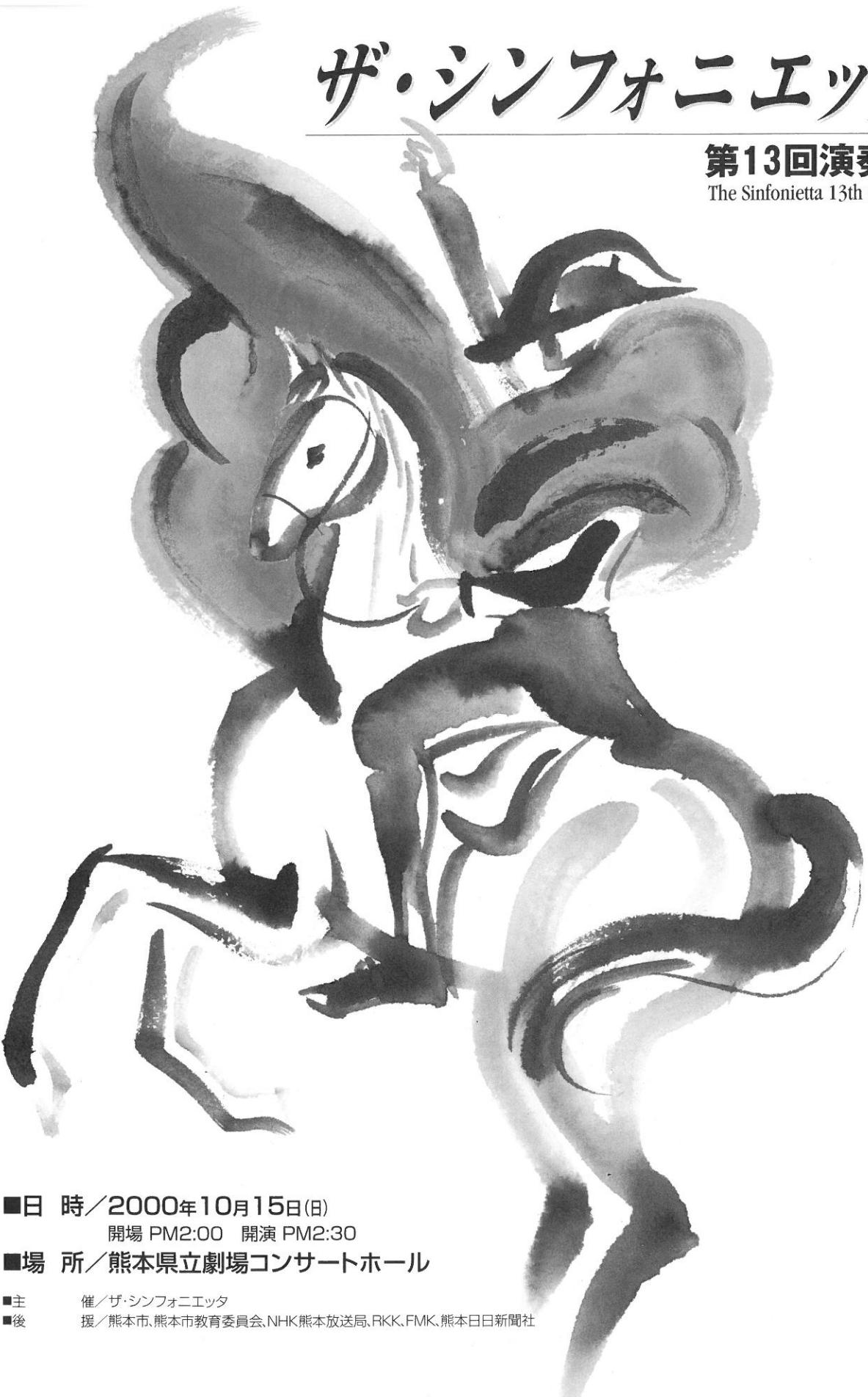
株 シャコンヌ

【名古屋本店】名古屋市中区大須3丁目31-22 明治生命上前津ビル4F ☎052(241)1779
【東京吉祥寺店】東京都武蔵野市吉祥寺本町1-31-11 K Sビル9F ☎0422(23)1879
【金沢店】金沢市香林坊2丁目12-20 シャトル香林坊504号 ☎0762(21)1779
【九州小倉店】北九州市小倉北区京町4-5-27 ステーションプラザ小倉駅前5F ☎093(531)2672
【札幌店】札幌市中央区北3条西1丁目1-1 ナショナルビル2F ☎011(221)2561
株 カノン 名古屋市昭和区隼人町9-1 ロイヤル軒中2F ☎052(834)4911
北京弦芸楽器有限公司(ストリング・アート・カンパニー) 北京・中央音楽学院内

営業時間 10:00~18:30 日・月定休

ザ・シンフォニエッタ

第13回演奏会
The Sinfonietta 13th Concert



■日 時／2000年10月15日(日)

開場 PM2:00 開演 PM2:30

■場 所／熊本県立劇場コンサートホール

■主
■後

催／ザ・シンフォニエッタ
援／熊本市、熊本市教育委員会、NHK熊本放送局、RKK、FMK、熊本日日新聞社

プログラム



● ベートーヴェン作曲

序曲「コリオラン」作品 62 (約10分)

● シェーンベルク作曲

室内交響曲第2番 作品 38 (約20分)



● ベートーヴェン作曲

**交響曲第3番変ホ長調
「英雄」作品 55** (約55分)

**指揮 / 藤崎凡
管弦楽 / ザ・シンフォニエッタ**



ごあいさつ

本日は、私共ザ・シンフォニエッタの演奏会にお越し頂きまして誠にありがとうございます。

1986年1月にこのオーケストラを結成し、翌年の1月に第1回の演奏会を開いて以来、私共の演奏会も今回で13回目を迎えることができました。これもひとえに皆様方の温かいご支援・ご協力の賜物と心からお礼申し上げます。

今回は、前回プロコフィエフの「古典交響曲」を取り上げたのに続いて、同じく20世紀に書かれたシェーンベルクの室内交響曲第2番という曲を演奏します。シェーンベルクといえば、「十二音技法」「無調」といった言葉が頭に浮かび、取りつきにくい印象をお持ちだと思います。「古典交響曲」がハイドンの交響曲を下敷きにしたといわれるのに対して、シェーンベルクのものはハイドンやモーツアルト、ベートーヴェンといった馴染みの深い作曲家の曲とはかなり違った発想で書かれているため、私どももその練習には苦労しました。しかし、長い期間の練習を経た今は、かなり自分の中に消化・吸収することができて、その魅力に触れることが出来た喜びを感じています。

一方、プログラム後半の「英雄」は、説明の必要がないほどの有名な曲ですが、私どものオーケストラにとっては「第九」という特別なもの除けば、この曲がベートーヴェンの交響曲の中で最後に残った1曲でした、結成から15年目にしてここまで辿り着くことができました。ベートーヴェンの交響曲はこれからも2回目、3回目とプログラムにとりあげていくことになると思いますが、その中でも今回は、ひとつの節目としてこれまでの集大成といえる演奏ができるようにしたいと思います。

指揮者の藤崎凡氏には4回連続でご指導を頂きますが、常に的確な指導と温かい人柄で私どもをリードして頂いています。私どももその御指導のもと、今まで練習に励んで参りました。20世紀に書かれた新しい響きの曲と約200年前に書かれた西洋音楽史上的一大傑作、これらの曲の素晴らしさを皆様にお伝えし、おひとりでも多くの方にご満足頂けますよう心をこめて演奏いたしますので、どうぞお楽しみ下さい。

これからも私共ザ・シンフォニエッタにご指導・ご鞭撻を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

2000年10月15日

ザ・シンフォニエッタ代表 清永健介

プロフィール

藤崎 凡

(ふじさき ほん)



1957年東京生。慶應義塾大学を卒業後、桐朋学園大学音楽部にオーケストラ研究生（指揮専攻）として入学。在学中指揮を秋山和慶、小澤征爾、尾高忠明、高階正光、J.フルネの各氏に、ピアノを池田素子氏にそれぞれ師事。1986年3月同課程修了。同年宮城フィルハーモニー管弦楽団（現、仙台フィルハーモニー管弦楽団）の指揮者オーディションに合格。1988年にはアメリカのタンブルウッド・ミュージックセンターに留学、L.バーンスタイン、G.マイヤー等のクラスで研鑽を積んだ。帰国後は創設間もないオーケストラ・アンサンブル金沢に招かれて多くのコンサートを指揮するとともに、新しいオーケストラの基盤づくりに貢献した。その後、群馬交響楽団と約3年間ほど同県内各地で子どものためのコンサートを行なったほか、各地のオーケストラや合唱団に招かれて多くのコンサートを指揮。一方1990年からは洗足学園大学オペラ研究所の講師として学生の指導やオペラ公演の指揮などの分野でも積極的に活動している。

ザ・シンフォニエッタ

結成から15年目を迎えた小編成のアマチュア・オーケストラ。素晴らしい指導者・支援者に恵まれて、一生懸命活動を続けています。

月2回の合奏の練習と随時のパート練習を行いながら、8~10ヶ月の間隔で演奏会を行っています。

曲目紹介

§ ベートーヴェン (1770~1827) 序曲「コリオラン」作品62

アレグロ・コン・プリオ、ハ短調、4分の4拍子

この曲は、当時のウィーンの宫廷秘書官で詩人でもあったフォン・コリンの戯曲「コリオラン」の序曲として作曲されました。コリオランは紀元前5世紀のローマの英雄コリオラヌスのこと、物語はローマから追放されたことに憤慨したコリオランが、ローマの敵方と結託してローマに攻め込むものの、妻と母の哀願にあって断念するというものです。

この序曲は、ハ短調というベートーヴェンにとっては宿命的ともいえる調性で書かれ、その性格は劇的な内容をもっています。序奏のない自由なソナタ形式で書かれており、弦楽器のユニゾンに導かれた力強い和音が3回鳴り、音楽が開始されます。屈折した律動を持ち、弦楽器で示される第1主題は、ローマを追放され敵方についたコリオランの高慢で情熱的な性格を表わしたものと言われています。逆に、穏やかに歌う第2主題は、彼の妻と母を表わしていると言われています。この2つの対比的な主題を軸に、劇的な緊張感が持続したまま音楽が進行し、曲の終結部においては、敵将としてローマを攻め、結局は自害するコリオランの救いのない悲劇を象徴するように、徐々に音が弱まり、消えるように曲は終わります。

§ シーンベルク (1874~1951) 室内交響曲第2番作品38

アルノルト・シーンベルクは、オーストリアに生まれ、十二音技法の創始者として今世紀の音楽に大きな影響を残し、その勢力をストラヴィン斯基と二分した作曲家です。ベルク、ウェーベルンら新ウィーン楽派の指導者の存在で、彼は後期ロマン派のスタイルから出発したものの、やがて無調の書法に突入し、その後無調から発展した十二音技法に到達します。ユダヤ系であったため、1933年ナチス政権確立の年に迫害を避け、アメリカに亡命しており、「ナポレオンへのオード」「ワルソーの生き残り」など政治告発的意味を持った作品も書いています。

「室内交響曲」は2曲残されていますが、いずれも伝統的な交響曲の概念を大きくはみ出した作品になっています。第2番は、1900年にウィーンで書き始められ、一旦中断されたあと、1911年と1916年に再開されたものの、完成は1939年まで持ち越されています。シーンベルクはアメリカに亡命したあと、自分の芸術に馴染みの薄い聴衆たちに少しでも親しんでもらえるようにと、いくつかの調性的な作品を書いていますが、室内交響曲第2番が調性的であることは、先に述べた作曲を開始した年代によるもので、すなわち、この曲の作曲を始めたときはまだ無調、十二音技法に辿り着いていなかったのです。彼は、1939年に完成を薦めた友人に宛てた手紙の中で次のように述べています。

「……何しろ私の様式はこの間に大いに発展していた。それでの頃に私が作曲したものに今の私が持っているより広範な形式理論への要求を適応させるのにいくらか苦しんでいる。」

第1楽章はそれまでにほぼ完成されており、第2楽章が1939年10月に完成されましたが、当初計画された第3楽章、あるいはそれに続く楽章については、次のように放棄されました。

「……終楽章（第3楽章を意味する）はエピローグだが、新しい主題を取り入れている。

（中略）しかし、厳密には必要ではない。音楽的、感情的な問題はすでに完成した2つの楽章で充分に取り扱われている。……」

このようにして2つの楽章だけが残されたのですが、作曲者自身が述べているとおり、2つの楽章だけで第3楽章を必要としないほどの完成度をもっており、伝統的な作品とはもちろん、同時代の作曲家の交響曲とも一味違った新しい交響曲の世界が創り出されています。

第1楽章 アダージオ

第2楽章 コン・フォーコ

※十二音技法

1オクターブの中に存在する半音階の12の音のおのをおのを、ある音を中心に関係づけることなく、平等の位置を与えながら作曲を行なう技法。無調音楽のひとつの技法。

調性をもった音楽（本日のプログラムではベートーヴェンの2曲）の場合、たとえば変ホ長調の曲では変ホ（ミ♭）が主音として旋律、和声の中心として働き、他の音がこれに従属的にかかわってきます。

§ ベートーヴェン 交響曲第3番変ホ長調「英雄」作品55

はじめの2つの交響曲にはほとんど逸話めいたものがなかったのに対して、第3番には広く知られた逸話があります。ナポレオンの皇帝即位の知らせを聞いたベートーヴェンが、激怒して「ボナパルトヘ／ルイジ・ファン・ベートーヴェン」という献辞を書いた交響曲第3番の表紙を引き破ってしまったというものです。それまで自由精神と人間開放の旗頭としてのナポレオンを高く評価し、彼の活動に期待注目していたベートーヴェンが、結局はナポレオンもまた王道の野心に燃えた支配者の一人でしかなかったことを知っておおいに怒り、「ある英雄の思い出を祝した」交響曲として「シンフォニア・エロイカ」と、イタリア語で表紙を書き改めたのでした。

この交響曲は前の2曲と同じく、速い一ゆっくり一速い一速いの4楽章構成ですが、各楽章の形式は極限まで拡張されていて、表現のスケールはまさに英雄的に壮大なものになっています。

第1楽章 アレグロ・コン・ブリオ、変ホ長調、4分の3拍子

ソナタ形式で書かれたこの楽章は、変化に富む楽想をおおらかな呼吸に息づかせながら進んでいきますが、展開幕の雄大な高揚感と終結部の充実が特に目立ちます。

第2楽章 葬送行進曲 アダージョ・アッサイ、ハ短調、4分の2拍子

この交響曲の最も大きな特徴の一つは、この楽章が「葬送行進曲」であることでしょう。今日、国葬の際などにどこの国でもこの楽章が演奏されているようです。

この楽章は、2つの主題と長調の挿入部を持っていて、ソナタ形式とロンド形式を結び付けた、大規模で自由な広がりを持って書かれています。形式の枠の中で、ベートーヴェン得意の幻想的な即興性が大きく膨れ上がったのでしょうか。特に挿入部のあとの方強いフーガは印象に残ります。

第3楽章 スケルツォ、アレグロ・ヴィヴァーチェ、変ホ長調、4分の3拍子

快活なリズムと旋律が縦横に駆け巡るこのスケルツォは、トリオ（中間部）を持つ大規模なものですが、このトリオの部分で、3本用いられているホルンが大活躍するのは、この曲の最大の聴き所の一つです。

第4楽章 フィナーレ、アレグロ・モルト、変ホ長調、4分の2拍子

短く力強い序奏部に始まるフィナーレは、第2楽章と対応して複雑な「形式の複合」によって書かれています。基本的な形式は「主題と変奏」なのですが、主題そのものも2つあり、変奏曲形式、ソナタ形式、フーガの3つの形式が組み合わされたものになっています。この構成は、後の傑作「第9交響曲」の下敷きになっていて、複雑巧妙な「第9」のフィナーレを取りしたこの楽章の組み立てが、このような非常に高い完成度を示しているのは、前の2つの交響曲との間がそれほど離れているわけではないことを考えると、驚異のことであると言えるでしょう。

この傑作になぞらえて、「英雄的飛躍」という言葉がこのような飛躍的発展のケースに使われることがありますが、ただスケールの抜本的な拡大とか内容の充実とかいつばかりではなく、作曲法における画期的な改革という面で、この曲は、ハイドン、モーツアルトの影響から脱した、ベートーヴェン独自の交響曲の新領域確立の宣言なのです。

出演者名簿

§ コンサートマスター

清永 健介
広瀬 卓

§ 第1ヴァイオリン

泉 勇氣
大宮 伸二
岡田 江身子
岡本 侑子
定永 明子
東家 容子
古市 敬子
山下 純子

§ 第2ヴァイオリン

東恭子
荒木祐子
岩下いと
大宮協子
中澤康達
増見見

§ ヴィオラ

和泉 希代子
太田 由美子
清永 育美
田代 典子
田中 誠一郎
村上 万里 *

§ チェロ

関瀬 畑口 佳東
瀬出 東家 本裕

§ コントラバス

高木 美緒
田中 真紀
歳田 和彦

§ フルート/ピッコロ

田島 公敏
中澤 邦男

§ オーボエ/

コーラングレ
石田 栄理子 *

§ クラリネット

府高 明子
山下 クミ

§ ファゴット

柴田 義浩
星出 和裕

§ ホルン

伊藤 友敬
猪野 敬一郎
田中 稔子 *

§ トランペット

出口 文教
福島 敏和

§ ティンバニ

福島 好 *

§ 副指揮

山本 俊之

* は賛助出演

次回の
御案内

ザ・シンフォニエッタ第14回演奏会

とき：2001年6月24日（日）

ところ：熊本県立劇場コンサートホール

指揮：藤崎 凡

曲目：モーツアルト作曲 ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲 他

■ イラストレーション ■ グラフィックデザイン ■ 絵本 ■ エッセイ

アトリエ
絵画教室

イラスト広場
Illust PLAZA



イラストレーター 池永 久美子

〒860-0868 熊本市清水万石4-12-20

TEL/FAX (096) 344-3963

space RAINBOW

絵画
音楽
舞踊
etc...

4つの
自由空間で
自己表現を

スペース レインボー
熊本市新市街 10-7
(シャワー通り)
TEL/FAX. 096-324-0387

大谷楽器 のレッスンコースいろいろ

大谷楽器では本当にたくさんのレッスンコースを揃えてみなさまのご要望にお応えします。
例えば ピアノ エレクトーン ドラム ギター ポーカル
サックス トランペット フルート バイオリン チェロ
オーケストラ ビッグバンド オカリナ ハーモニカ
ウクレレ キーボード などなど。

お問い合わせは下記までよろしくお願ひします。
(株)大谷楽器
熊本市上通 7-1 TEL 096-355-2248

ギャラリー Vessel
ベセル
「ひかり」展
14人の陶芸家による企画展
10月28日(土)~11月12日(日)
10:00~18:00
開催地及び主催
陶房 恵泉 今村 この恵
菊池郡菊陽町津久礼 2966-5
TEL (096)232-6656

米穀 運送 空調設備
くらしをサポート
(有)米之介
熊本市渡鹿 5丁目 9-91
TEL (代) 363-2231
FAX 363-2232

N響弦楽五重奏 in 清水中学校

日 時：平成 12年 10月 24日(火) 14時20分開演
場 所：清水中学校体育館
出 演：N響第一コンサートマスター
：篠崎史紀ほか
曲 目：モーツアルト——アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク
クライスター——美しいロスマリン
ヨハン・シュトラウス——美しく青きドナウ ほか
一 般：1,000円
お問い合わせは…
主 催／熊本室内楽研究会・坂本 (090-3326-0640)

陶芸教室生徒募集

2001年 1月開講
いする がま
出窯工房にて
～金峰山南麓の有明海を見渡せる高台。
明るくて開放的です。～
受講料 6,000円
／月・4回
(入会料として 6,000円)
材料費、焼成費は別途
詳しく述べ
出窯・出口文教
TEL/FAX
(096)329-8878

熊本上通 酒・肴・飯・菜
路地裏 壱之倉庫
界隈
遊・樂・歩 さくらさくら

パンフレット・ポスター・チラシ
フォーム伝票・カレンダー・名刺
BC 柳山
ビー シー
〒860-0821 熊本市本山4丁目3-22
TEL (096) 354-3515
FAX (096) 354-3516
E-mail:bc-k@crocus.ocn.ne.jp

バイオリンって 楽しいですよ

広瀬バイオリンスクール神水教室では
幼稚～大人までの方々がバイオリンを
楽しんでいらっしゃいます
ぜひ、あなたもバイオリンを弾いてみませんか

広瀬バイオリンスクール神水教室
熊本市神水1丁目8-9 みのりマンション402
TEL&FAX.096-385-9819
指導 広瀬 卓
日本弦楽器指導者協会会員
The Sinfoniettaコンサートマスター

オフィス ケイ・ティのハーモニーは
クラシックの世界を広げていきます

オフィス ケイ・ティグループ

- ・オフィス ケイ・ティ音楽プロデュース
(学校音楽鑑賞会、各種パーティー、イベント)
- ・クレモネーゼバイオリンショップ
- ・クレモネーゼバイオリン教室
(バイオリン、ビオラ、チェロ、コントラバス)

〒860-0842
熊本市南千反畠町 11-12-201
(藤崎宮参道沿い)
Tel:096-352-6284
Fax:096-352-6286
ホームページ <http://www.office.kt.co.jp>

The London Café
完全月謝制
英語 ¥ 8,500
スペイン語 ¥ 10,000
(グループ・週1回)
英会話・スペイン語

- ・当校独自の「Lingua英会話システム」
で確実に実力アップ！
- ・経験豊かなネイティブ講師が指導
- ・留学手配バックアップ！！

ザ・ロンドンカフェ英会話スクール
〒860-0848 熊本市南坪井町 1-5
上通並木坂サンコスメティオ 4F
TEL 096-326-1902

はらぐちこどもクリニック
院長 原口 洋吾
〒860-0881
熊本市麻生田2丁目1番6号
TEL. 096-386-3211